

魚津市公共施設等総合管理計画

個別施設計画

I 公共施設

A 市庁舎等

2 健康センター

令和3年3月

魚津市

(所管部署：健康センター)

目 次

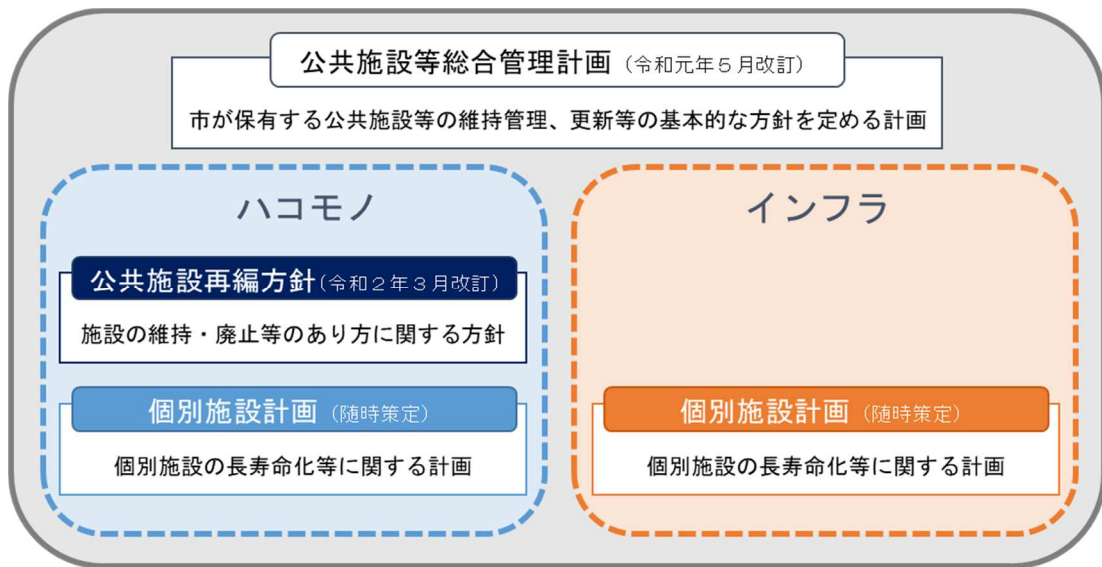
1	個別施設計画策定の趣旨及び概要	
1. 1	策定の趣旨	P 1
1. 2	対象施設	P 1
1. 3	計画期間	P 1
1. 4	進行管理	P 1
2	施設の状況	
2. 1	老朽化の状況及び改修状況	P 2
2. 2	位置図	P 3
2. 3	施設の利用状況及び収支の状況	P 4
3	個別施設の方針	
3. 1	施設の役割	P 5
3. 2	現状と課題	P 5
3. 3	今後の考え方	P 6
3. 4	対策内容と実施時期	P 8
3. 5	対策費用	P 8

1 個別施設計画策定の趣旨及び概要

1. 1 策定の趣旨

本計画は、魚津市公共施設等総合管理計画（令和元年5月改訂版。以下、「管理計画」という。）に基づき、施設類型ごとの具体的な方針や長寿命化計画などを示すものです。

魚津市における公共施設等総合管理の概念図



1. 2 対象施設

対象施設は、管理計画における「健康センター」とします。

1. 3 計画期間

計画期間は、20年間とします。

1. 4 進行管理

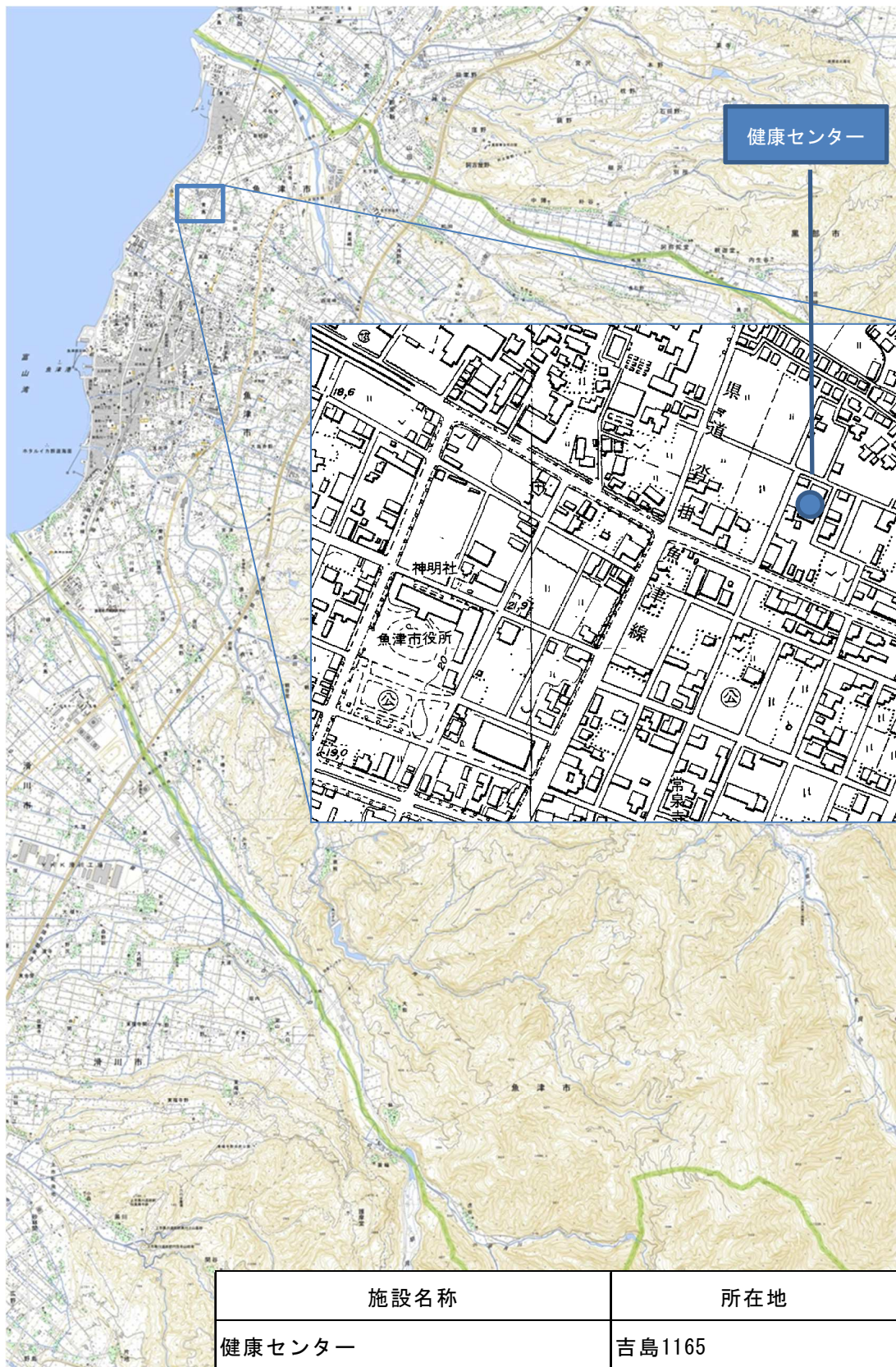
本計画に基づく進捗確認を毎年度行い、達成状況や財政状況などを踏まえて対策内容と実施時期を見直すことにより、計画的な改修等に努めます。

2 施設の状況

2.1 老朽化の状況及び改修状況

No	施設名称		建設年度	経過年数	構造 / 階層	延床面積 (㎡)	敷地面積 (うち借地) (㎡)	資産老朽化比率	劣化状況	改修状況			
										耐震化改修	長寿命化改修		
											屋根	外壁	他
1	健康センター	事務所棟1	S60	35	RC/2	1166.18	2,480	68.0%	事務所棟1の2階空調部分の劣化	不要			
		事務所棟2	H8	24	RC/1	185.40		46.0%					
		その他(車庫)				33.06							
	合計					1384.64	2,480	63.8%					

2. 2 位置図



2. 3 施設の利用状況及び収支の状況

No	施設名称	利用状況（人）		収支（千円）							
		H30	R1	H30				R1			
				収入	支出	収支差額	【参考】 減価償却費	収入	支出	収支差額	【参考】 減価償却費
1	健康センター	19,191	15,386	0	8,421	▲ 8,421	5,211	0	9,098	▲ 9,098	5,211
	合計	19,191	15,386	0	8,421	▲ 8,421	5,211	0	9,098	▲ 9,098	5,211

健康センターの利用は基本的には無料の施設であるため、収入は見込めません。

経費の内訳は、燃料費、光熱水費、機械警備等の委託料や機器のリース代、軽微な修繕料等です。

3 個別施設の方針

3.1 施設の役割

地域保健法第 18 条に規定する「市町村保健センター」であり、健康相談、保健指導及び健康診査その他、地域保健に関し必要な事業を行う施設です。また、児童福祉法第 6 条の 3 ⑥に規定する地域子育て支援拠点事業である「子育て支援センターのびのび」を併設しています。

具体的には、健康づくりに関する教室や相談、各種健康診査、母子健康手帳の交付、妊産婦・乳幼児健診や予防接種、育児に関する教室や相談などの業務を行っています。

3.2 現状と課題

「子育て支援センターのびのび」は、毎日型で乳幼児やその保護者が相互の交流をする場であるため、毎日、多くの親子連れが訪れています。また、各種健康教室や健康相談、検診等、成人が多く集まる事業も定期的、あるいは不定期に開催しています。

参加者が集中する時間帯や日時によっては、駐車場が不足することがあります。施設の老朽化に伴う壁面のひび割れや軽微な雨漏りが随所にあります。

耐震化された建物であり、中規模・大規模改修は必要ではないものの、最低限の修繕は随時必要と思われます。また、灯油の地下タンクが埋設されており令和 7 年に使用期限を迎えることから、地上へのタンク更新工事を行う必要があります。あわせて、1 階の空調設備であるボイラーは、平成 8 年の機器を使用しており劣化が進み、修理の頻度が多くなっています。

3. 3 今後の考え方

①施設の方針（魚津市公共施設再編方針（令和元年改訂版）抜粋）

<再編方針>	目標年度：中期（R11）
○市民の利便性向上、施設管理等の効率化を図るため本庁舎の整備に合わせて本庁舎へ移転統合する。 ○跡地については、民間への譲渡も含め、利活用方法を幅広く検討する。	

②対策の優先順位の考え方

基本的には、建築年度又は長寿命化改修実施年度からの経過年数が大きい施設から優先的に対策を実施するものとしませんが、点検結果や施設の利用状況等の要因により実施時期が前後する場合があります。

また、市の財政状況を見ながら、対策に係る経費が平準化されるよう、計画的に対策を実施するものとしします。

③保有総量の抑制について

社会情勢の変化をふまえ、サービス水準を出来る限り維持しながら公共施設の総量を抑制するため、施設の維持更新にあたり、機能集約や複合化を検討します。

④施設の長寿命化について

施設の長寿命化を図るため、事後保全的な維持管理から予防保全的な維持管理に転換します。

施設の目標使用年数を60年以上とし、施設の長寿命化改修は建築年度から20年及び40年を経過する年度から5年以内を目途に実施するものとしします。

④社会的なニーズへの対応について

施設の長寿命化改修に併せ、バリアフリー化、ユニバーサルデザイン化等に係

る改修を実施するものとします。

ただし、経費の平準化や社会的要請の高まり等の要因により個別に対応を実施する場合があります。

3. 4 対策内容と実施時期

No	施設名称	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18	R19	R20	R21	R22		
1	魚津市健康センター	適切な維持管理・改修等を実施する										民間への譲渡も含めた跡地の活用											
							機能集約の検討				・本庁舎へ機能集約												

※ 本計画は、適切な長寿命化改修を実施することにより、減価償却資産の耐用年数を超えて施設を利用することを目指すものですが、老朽化度調査等の結果を基に、長寿命化改修の実施有無や利用期間などが変更となる可能性があります。

※ 本計画における長寿命化改修や建替え等については、市の財政状況を見ながら、対策に係る経費が平準化されるよう、計画的に対策を実施するものとします。

3. 5 対策費用

計画期間における健康センターの概算費用は、全体で約3千万円です。

ただし、現在の市の財政状況では全ての対策を実施することは困難なため、市の公共施設全体で統廃合や複合化を更に推進し、総量縮減を図る必要があります。